

## 令和6年度入学試験問題

### 総合問題(教育支援専門職養成課程・福祉コース)

#### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入下さい。
3. 解答用紙は2枚、草稿用紙は2枚です。
4. 解答は、1マス目から書き始め、1文字空けたり、改行したりせずに横書きで書き進め下さい。
5. 各解答用紙には、受験番号を記入する欄がそれぞれ1箇所あります。
6. 試験終了後、問題冊子と草稿用紙は持ち帰り下さい。

## 問題 I 次の文章を読み問いに答えよ。

この話は、道を歩いていたお医者さんが偶然倒れている人を見かけて応急処置をして病院に運び込んだような、ある種の職業的な能力や知識を持っている人が日常生活の中でたまたまその職業的能力を必要としている人を見かけて対処したそんな話で、ソーシャルワーカーが行き暮れている人を見つけてワーカーのさまざまな手法や知恵を駆使して取りあえずの対応をした話です。

暖かなある春の日の昼ごろのこと、いつも使う地下鉄駅の入口の通りに面した壁のところにとろとろに汚れた五十代か六十代前半と思われる男性が寝転がっているのを見かけました。普段見かけたことのない人です。

ピンと来るものがある「どうなさいました」と声をかけました。

私には、ピンと来るには来るなりの理由がありました。

なんといっても、この人は行き倒れの状態で、もしかしたら救急車を呼ばなければならぬかも知れないか、と思いました。切実に助けを必要としている人だと感じ取ったのです。“普通”のホームレスの人にはそれなりの生気があって、そこに自分の意思で寝転がっている感じがあるのですが、その感じがなく行き当たりばったりのところに倒れこんでいる印象でした。

だって、新聞紙をくちゃくちゃにしたものを頭のところに敷いただけだし、その辺りには紙パックの酒が7、8個散乱しているし、手足顔、全身垢まみれで臭いたっています。衣服も不潔そのもので、サンダル履きの素足には垢が厚く黒くこびりついていました。

「どうなさいました」

ちょっとかがみこんで幾度か声をかけると、のろのろと顔だけ向きを変え、どんよりにごって目やにのたまった目を向けてきました。憔悴<sup>しょうすい</sup>し、衰弱している様子です。

そして、ようやく弱々しい声で応答がありました。

「どうしたらいいのかわからないんですよ。このまま死のうと思っているのですよ」

酒くさい息がして、だいぶ呑んでいるようです。

“死のうと思っている”という返事は予想外でもあり予想内でもありました。本当に途方に暮れた人はしばしば簡単に“死”を口にします。特に老人はよく言います。“お迎えが来なくて困るよ”とか“早く死にたい”とか……。あるいはもっと積極的に“死んでやる！”などと脅かしたりします。

「どうしたらいいかわからないって……。死ぬって言ったって、死ぬのだってなかなか大変ですよ。なかなか死ねないのでしょうか？」

私もしっかりとしゃがみ込んで低い視線の位置につきました。本格的に話をする姿勢に変えたのです。

第一声がいきなり死ぬ話でした。

でも、私の同情を引いたり、脅かしの手段に使っている印象ではありませんでした。死のうとしてきたけれどもなかなか死にきれず、ここにこうして転がっているという感じです。

今までおそらく敗残の人生を過ごして、やけっぱちになってもうどうにでもなれ、死んでもいいやという時を何度か過ごしてきたのではないかと推察しました。やけっぱちになって死のうとしたけれどもそんなに簡単には死ねるものではない、という実感を心底持っているのではないかと。その実感の思いがひしひしと伝わってきましたから、“でも、そうは言ってもなかなか死ねないよねえ”という、私の思いを込めて返したのです。

やけっぱちではあるが本当に積極的に死ぬつもりでもないとも感じました。積極的に死ぬ気力も失せていて、無気力でなりゆきにまかせてただよっているという印象なのです。私は死を試みたことがないので分かりませんが、生きている自分を自分で殺すには相当のエネルギーが必要ではないかと思います。

「そうなんです。なかなか死ねないんですよ。でももう死ぬっきゃないんですよ」

なかなか死ねない、ということで苦笑いのような薄い笑いの表情が浮かびました。その応答で、私はまずは核心に飛び込めたと考えました。

その男性には見ず知らずの年配の女性にいきなり声をかけられて返事をしなければならぬ義理はありません。私を無視して背中を向けてもそれまでです。なの

に、彼は私の呼びかけに応えようとした、そのことがこの際、この話の核心にかかわることなのです。つまり、「なかなか死ねないのでしょうか？」という私の答えの返し方は彼の琴線に触れることができ、まずは、呼びかけに応じてもらえた、つまり、私は合格したと思うのです。

宮本節子(2019)『ソーシャルワーカーという仕事』ちくまプリマー新書.

問 下線部「私の答えの返し方は彼の琴線に触れることができ」とあるが、この女性のどのような姿勢が男性の応答を引き出したといえるか。この女性の支援者としての姿勢を 300 字以内で述べよ。

**問題Ⅱ** 以下の表は「教員による子どもの権利の理解度」の調査結果である。選択肢2，7は，子どもの権利としてふさわしくないとされている内容であるが，他の項目とくらべて，選択肢2，7が子どもの権利としてふさわしくない理由を，350字以内で述べよ。

Q 子どもの権利としてふさわしいと思う内容をすべて選んでください

(複数選択，回答者 468 人)

内 容	選択した人の割合
1 すべての子どもは，大人と同じように1人の人間であり人権を持っている。	88.2%
2 子どもは義務や責任を果たすことで権利を行使することができる。 ※子どもの権利として，ふさわしくない内容	27.6%
3 子どもは自分と関わりあるすべての事について意見を表明でき，その意見は正当に重視される。	64.1%
4 子どもは家庭でも学校でもどのような場所においても，あらゆる暴力から守られる。	81.2%
5 障害のある子どもを含むすべての子どもは，社会に積極的に参加し，インクルーシブな教育を受けられる。	73.3%
6 子どもは必要な医療・保健サービスや社会保障制度を利用し，十分な生活を送ることができる。	70.5%
7 子どもは成長途上のため，子どもに関する事はいかなる場合も大人が子どもに代わり決めるよう推奨される。 ※子どもの権利として，ふさわしくない内容	19.8%
8 子どもは遊んだり，休んだりする権利を持っている。	59.8%
9 すべての子どもは性別や人種の違いで差別されず，同じ権利を持っている。	79.7%

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(2022)

「学校生活と子どもの権利に関する教員向けアンケート調査結果」.